

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語ⅠA(文字・語彙)		学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	和田方子 ・ 武下悦子		学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	日本留学試験対策、日本語能力試験対策を中心に、N1・N2各レベルの漢字・語彙の導入と運用練習。直接法による能力別クラス授業。							
到達目標	日本留学試験300点以上、日本語能力試験N1・N2高得点合格を目指す。							
授業計画・内容								
第1週	プレースメントテストとFB			第16週	テキスト7課		日留試過去問題練習15	
第2週	テキスト1課	日留試過去問題練習1		第17週	テキスト7課	日留試過去問題練習16		
第3週	テキスト1課	日留試過去問題練習2		第18週	テキスト8課	日留試過去問題練習17		
第4週	テキスト2課	日留試過去問題練習3		第19週	テキスト8課	日留試過去問題練習18		
第5週	テキスト2課	日留試過去問題練習4		第20週	テキスト9課	日留試過去問題練習19		
第6週	テキスト3課	日留試過去問題練習5		第21週	テキスト9課	日留試過去問題練習20		
第7週	テキスト3課	日留試過去問題練習6		第22週	日能試直前対策3	日留試過去問題練習21		
第8週	日能試直前対策	日留試過去問題練習7		第23週	日能試直前対策4	日留試過去問題練習22		
第9週	テキスト4課	日留試過去問題練習8		第24週	テキスト10課			
第10週	テキスト5課	日留試過去問題練習9		第25週	テキスト10課			
第11週	テキスト5課	日留試過去問題練習10		第26週	テキスト11課			
第12週	テキスト6課	日留試過去問題練習11		第27週	テキスト11課			
第13週	テキスト6課	日留試過去問題練習12		第28週	テキスト12課			
第14週	テキスト6課	日留試過去問題練習13		第29週	テキスト12課			
第15週	期末テスト			第30週	期末テスト			
評価方法	定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。							
教科書 教材など	オリジナルテキスト。							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語ⅠB(聴解)		学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	弘田紀子・宮氏五朗		学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	日本留学試験・日本語能力試験対策を中心に、音声から学習した日本語を的確にキャッチし、情報を得たり適切な反応ができるように「聞く」行為を円滑に進める力を養う。直接法によるレベル別授業。							
到達目標	日本留学試験300点以上、日本語能力試験N1・N2高得点合格を目指す。							
授業計画・内容								
第1週	プレースメントテスト		第16週	日留試過去問題練習15		日能試対策 15 課題理解3		
第2週	日留試過去問題練習1	日能試対策 1 音声の特徴に慣れる	第17週	日留試過去問題練習16		日能試対策 16 ポイント理解3		
第3週	日留試過去問題練習2	日能試対策 2 即時応答1	第18週	日留試過去問題練習17		日能試対策 17 概要理解3		
第4週	日留試過去問題練習3	日能試対策 3 即時応答2	第19週	日留試過去問題練習18		日能試対策 18 即時応答3		
第5週	日留試過去問題練習4	日能試対策 4 課題理解1	第20週	日留試過去問題練習19		日能試対策 19 即時応答4		
第6週	日留試過去問題練習5	日能試対策 5 課題理解2	第21週	日留試過去問題練習20		日能試対策 20 統合理解3		
第7週	日留試過去問題練習6	日能試対策 6 ポイント理解1	第22週	日留試過去問題練習21		日能試対策 21 統合理解4		
第8週	日留試過去問題練習7	日能試対策 7 ポイント理解2	第23週	日能試直前対策				
第9週	日留試過去問題練習8	日能試対策 8 確認問題1	第24週	聴解・聴読解総合練習1				
第10週	日留試過去問題練習9	日能試対策 9 概要理解1	第25週	聴解・聴読解総合練習2				
第11週	日留試過去問題練習10	日能試対策 10 概要理解2	第26週	聴解・聴読解総合練習3				
第12週	日留試過去問題練習11	日能試対策 11 統合理解1	第27週	聴解・聴読解総合練習4				
第13週	日留試過去問題練習12	日能試対策 12 統合理解2	第28週	聴解・聴読解総合練習5				
第14週	日留試過去問題練習13	日能試対策 13 確認問題2	第29週	聴解・聴読解総合練習6				
第15週	日留試過去問題練習14	日能試対策 14 確認問題3	第30週	期末テスト				
評価方法	定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。							
教科書 教材など	『速攻トレーニング(聴解・聴読解)』他 オリジナル教材							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語ⅠC(読解・文法)	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	一瀬裕子 ・ 和田方子	学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	日本留学試験対策、日本語能力試験対策を中心に、日本語文法の理解を基礎として、文章の仕組みを理解し、文章全体の意味をとらえる練習、文章の細かい部分を正確に読み取る練習を積み重ね、問いを解く技術を身に付け、アカデミックジャパニーズの習得と運用力の向上をはかる。						
到達目標	日本留学試験300点以上、日本語能力試験N1・N2高得点合格を目指す。						
授業計画・内容							
第1週	プレースメントテストとFB		第16週	テキスト第5課1			
第2週	テキスト第1課1		第17週	テキスト第5課2			
第3週	テキスト第1課2		第18週	テキスト第5課3			
第4週	テキスト第1課3		第19週	テキスト第6課1			
第5週	テキスト第2課1		第20週	テキスト第6課2			
第6週	テキスト第2課2		第21週	テキスト第6課3			
第7週	テキスト第2課3		第22週	テキスト第5・6課復習と確認			
第8週	テキスト第1・2課復習と確認		第23週	テキスト第7課1			
第9週	テキスト第3課1		第24週	テキスト第7課2			
第10週	テキスト第3課2		第25週	テキスト第7課3			
第11週	テキスト第3課3		第26週	テキスト第8課1			
第12週	テキスト第4課1		第27週	テキスト第8課2			
第13週	テキスト第4課2		第28週	テキスト第8課3			
第14週	テキスト第4課3		第29週	読解総合練習			
第15週	期末テスト		第30週	期末テスト			
評価方法	定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。						
教科書 教材など	『日本語5つのとびら—中上級編—』他、オリジナル教材						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	日本語 I D(口語表現)	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	弘田紀子 ・ 山崎恵理子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	正しい発音を意識しながら、場面や相手にふさわしい話し方の練習を行う。後期では大学入試2次試験の口頭試問対策も行う。						
到達目標	正確な発音で、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。ある程度までまとめた内容の抽象的な談話や、専門的な談話ができる。						
授業計画・内容							
第1週	前期授業オリエンテーション		第16週	後期授業オリエンテーション			
第2週	ウォーミングアップ		第17週	テキスト第7課1			
第3週	テキスト第1課1		第18週	テキスト第7課2			
第4週	テキスト第1課2		第19週	テキスト第8課1			
第5週	テキスト第2課1		第20週	テキスト第8課2			
第6週	テキスト第2課2		第21週	テキスト第9課1			
第7週	テキスト第3課1		第22週	テキスト第9課2			
第8週	テキスト第3課2		第23週	テキスト第10課1			
第9週	テキスト第4課1		第24週	テキスト第10課2			
第10週	テキスト第4課2		第25週	テキスト第11課1			
第11週	テキスト第5課1		第26週	テキスト第11課2			
第12週	テキスト第5課2		第27週	テキスト第12課1			
第13週	テキスト第6課1		第28週	テキスト第12課2			
第14週	テキスト第6課2		第29週	テキストまとめ			
第15週	期末テスト		第30週	期末テスト			
評価方法	定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	小論文 I	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	宮氏五朗	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	新聞記事や各種資料を読んでその内容を整理し、アカデミックな文章をテーマに即して書く技術を身につける。						
到達目標	与えられた課題の指示に基づき、自分の考えを、正確な文法と適切な語彙を用いて論理的に書くことができる。						
授業計画・内容							
第1週	ガイダンス アカデミック・ライティングへの準備	第16週	アカデミック・スタイルの整理①				
第2週	原稿用紙・文書作成ソフトの使い方	第17週	アカデミック・スタイルの整理②				
第3週	自分の体験に基づいて意見を述べる1	第18週	関心のあるニュースを紹介する1				
第4週	自分の体験に基づいて意見を述べる2	第19週	関心のあるニュースを紹介する2				
第5週	自分の体験に基づいて意見を述べる3	第20週	関心のあるニュースを紹介する3				
第6週	実践テスト①	第21週	実践テスト③				
第7週	立場を決めて意見を述べる1	第22週	データに基づいて報告する1				
第8週	立場を決めて意見を述べる2	第23週	データに基づいて報告する2				
第9週	立場を決めて意見を述べる3	第24週	データに基づいて報告する3				
第10週	実践テスト②	第25週	実践テスト④				
第11週	課題を見つけて意見を述べる1	第26週	学んだことを生かしてレポートを完成させる1				
第12週	課題を見つけて意見を述べる2	第27週	学んだことを生かしてレポートを完成させる2				
第13週	課題を見つけて意見を述べる3	第28週	学んだことを生かしてレポートを完成させる3				
第14週	前期の学習内容のまとめ	第29週	後期の学習内容のまとめ				
第15週	期末テスト	第30週	期末テスト				
評価方法	単元ごとの実戦テストや定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。						
教科書 教材など	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』他、オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	国際文化Ⅰ		学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	道上知弘		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	現代の日本と日本を取り巻く世界の国々・地域における様々な問題に関心を持ち、新聞記事、インターネットニュースなどから情報を収集し、それについての意見をまとめて討論し、発表する。同時にテキストの読解や自分での調査により、日本文化の各事象にも理解を深め、個人・グループで発表する練習も行う。							
到達目標	日本での進学や就職に必要な、日本や世界に対する基本的な理解を身につけることを目標に、国内外のニュースから自分でテーマを選び、情報を整理して、考察したことのプレゼンテーションができるようになる。							
授業計画・内容								
第1週	ガイダンス			第17週	時事研究発表準備1		日本の現代文化1	
第2週	新聞記事の読み方1		日本の地理1	第18週	時事研究発表準備2		日本の現代文化2	
第3週	新聞記事の読み方2		日本の地理2	第19週	時事研究発表準備3		日本のスポーツ1	
第4週	新聞記事の読み方3		日本の生活1	第20週	時事研究発表準備4		日本のスポーツ2	
第5週	新聞記事の読み方4		日本の生活2	第21週	時事研究発表準備5		日本の科学技術1	
第6週	新聞記事の読み方5		日本の年中行事1	第22週	時事研究発表準備6		日本の科学技術2	
第7週	新聞記事の読み方6		日本の年中行事2	第23週	時事研究発表準備7		日本の教育1	
第8週	新聞記事の読み方7		日本の食事	第24週	時事研究発表準備8		日本の教育2	
第9週	グループディスカッション①			第25週	グループディスカッション③			
第10週	社説・論説の分析1		日本の歴史1	第26週	時事研究発表1		日本の産業と経済1	
第11週	社説・論説の分析2		日本の歴史2	第27週	時事研究発表2		日本の産業と経済2	
第12週	社説・論説の分析3		日本の歴史3	第28週	時事研究発表3		日本の政治1	
第13週	社説・論説の分析4		日本の伝統文化1	第29週	時事研究発表4		日本の政治2	
第14週	社説・論説の分析5		日本の伝統文化2	第30週	時事研究発表5		日本の政治3	
第15週	グループディスカッション②			第31週	グループディスカッション④			
評価方法	授業中の発表の完成度に、平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。							
教科書 教材など	『クローズアップ日本事情15: 日本語で学ぶ社会と文化』他、オリジナル教材							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	進学指導Ⅰ	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	道上知弘	学年・学期	1年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	進学や就職に対する基本的な知識の導入と、学習した日本語を実際の運用につなげ、面接試験のための対策、志望理由書の作成などを行う。						
到達目標	自分が日本に留学した理由を再確認し、進学・就職後にどのようなビジョンを持っているかを明らかにして、進学活動、就職活動のモチベーションにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、授業の説明		第16週	面接試験対策1		年間日程設定3	
第2週	進学のための基礎知識1 年間日程設定1		第17週	面接試験対策2		自己分析2	
第3週	進学のための基礎知識2 日本の大学、大学院について		第18週	面接試験対策3		日本へ留学しようと思った理由	
第4週	進学のための基礎知識3 日本の大学、大学院1		第19週	面接試験対策4		この大学を志望した理由	
第5週	進学のための基礎知識4 日本の大学、大学院2		第20週	面接試験対策5		どんな学校生活を送りたいか	
第6週	進学のための基礎知識5 受験準備の手順		第21週	面接試験対策6		卒業後の希望や予定	
第7週	進学のための基礎知識6 自己分析1		第22週	面接試験対策7		経費支弁について	
第8週	進学のための基礎知識7 志望校選定について1		第23週	面接試験対策8		他大学の受験について	
第9週	進学のための基礎知識8 年間日程設定2		第24週	面接試験実践練習1		出願サポート	
第10週	進学のための基礎知識9 大学卒業後の計画1		第25週	面接試験実践練習2		出願サポート	
第11週	進学のための基礎知識10 大学卒業後の計画2		第26週	面接試験実践練習3		出願サポート	
第12週	進学のための基礎知識11 志望学部の情報収集1		第27週	面接試験実践練習4		出願サポート	
第13週	進学のための基礎知識12 志望学部の情報収集2		第28週	面接試験実践練習5		出願サポート	
第14週	進学のための基礎知識13 志望大学の情報収集1		第29週	面接試験実践練習6		出願サポート	
第15週	進学のための基礎知識14 志望大学の情報収集2		第30週	面接試験実践練習7		出願サポート	
評価方法	授業毎の課題、授業に取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	数学演習Ⅰ	学科名	国際文化学科			授業方法	演習
担当教員	道上知弘・弘田紀子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	日本留学試験基礎科目の数学科目(数学コース1・数学コース2)対策を各学生の学力と進度に合わせた演習形式で行う。第2回留学試験終了後は大学の2次試験対策を行う。						
到達目標	日本の大学で学ぶための基礎的な学力をつけ、日本留学試験で各科目70%以上の得点を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション	第16週	数学演習⑫				
第2週	数学演習①	第17週	数学演習⑬				
第3週	数学演習②	第18週	数学演習⑭				
第4週	数学演習③	第19週	数学演習⑮				
第5週	到達度テスト①	第20週	到達度テスト④				
第6週	数学演習④	第21週	数学演習⑯				
第7週	数学演習⑤	第22週	数学演習⑰				
第8週	数学演習⑥	第23週	数学演習⑱				
第9週	数学演習⑦	第24週	数学演習⑲				
第10週	到達度テスト②	第25週	数学演習⑳				
第11週	数学演習⑧	第26週	到達度テスト⑤				
第12週	数学演習⑨	第27週	大学入試2次試験対策①				
第13週	数学演習⑩	第28週	大学入試2次試験対策②				
第14週	数学演習⑪	第29週	大学入試2次試験対策③				
第15週	数学演習③	第30週	大学入試2次試験対策④				
評価方法	到達度テスト、出席状況や授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	PC演習 I	学科名	国際文化学科			授業方法	演習
担当教員	弘田紀子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法をマスターし、MicrosoftOfficeに含まれるWord、Excel、PowerPint等の操作方法や基本的な機能について学習する。						
到達目標	Word、Excel、PowerPointの各機能を理解する。						
授業計画・内容							
第1週	イントロダクション		第16週	作成したグラフや表をWordに張り付ける方法とその特徴			
第2週	タイピング		第17週	関数の作成と解説、応用1			
第3週	編集書式設定		第18週	関数の作成と解説、応用2			
第4週	ページ設定、ヘッダーとフッターの設定		第19週	関数の作成と解説、応用3			
第5週	表を活用した文書の作成		第20週	関数の作成と解説、応用4			
第6週	画像や図形を活用した文書の作成		第21週	関数の作成と解説、応用5			
第7週	SmartArtの挿入		第22週	関数の作成と解説、応用6			
第8週	脚注の挿入、参考文献の書き方		第23週	Excelのまとめ			
第9週	その他の機能		第24週	PowerPointの基礎知識			
第10週	Wordのまとめ		第25週	入力・編集			
第11週	Excelの基礎知識		第26週	アニメーションの設定			
第12週	四則計算		第27週	表・グラフ・図形の設定			
第13週	表の作成		第28週	PowerPointのまとめ			
第14週	グラフの作成①		第29週	Word,Excel,PowerPointを効果的に使ったpresentation①			
第15週	作成したグラフや表をWordに張り付ける方法とその特徴		第30週	Word,Excel,PowerPointを効果的に使ったpresentation②			
評価方法	授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。						
教科書 教材など	『30時間でマスターOffice』他、オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	論文研究Ⅰ	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	道上知弘	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	テキストの学習を中心に、研究計画書作成や、大学院進学後に必要な、専門分野のレポート、論文、専門書などの論理的な文章を読むための基礎的な読解技術を養う。						
到達目標	学術論文の読解に必要な、語と語、文と文、段落と段落の論理的関係を正確に把握し、筆者の考え、意図を理解する読解力を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	授業オリエンテーション		第16週	テキスト第5課①			
第2週	テキスト第1課①		第17週	テキスト第5課②			
第3週	テキスト第1課②		第18週	テキスト第5課③			
第4週	テキスト第1課③		第19週	読解の手がかり②			
第5週	テキスト第2課①		第20週	テキスト第6課①			
第6週	テキスト第2課②		第21週	テキスト第6課②			
第7週	テキスト第2課③		第22週	テキスト第6課③			
第8週	テキスト第3課①		第23週	テキスト第7課①			
第9週	テキスト第3課②		第24週	テキスト第7課②			
第10週	テキスト第3課③		第25週	テキスト第7課③			
第11週	読解の手がかり①		第26週	テキスト第8課①			
第12週	テキスト第4課①		第27週	テキスト第8課②			
第13週	テキスト第4課②		第28週	テキスト第8課③			
第14週	テキスト第4課③		第29週	読解の手がかり③			
第15週	期末テスト		第30週	期末テスト			
評価方法	定期試験の成績に平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)を加味して総合的に評価する。						
教科書 教材など	『大学・大学院 留学生の日本語①読解編』他、オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	理科演習 I	学科名	国際文化学科			授業方法	演習
担当教員	道上知弘 ・ 弘田紀子	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	日本留学試験基礎科目の理科科目(物理・化学・生物)対策を各学生の学力と進度に合わせた演習形式で行う。第2回留学試験終了後は大学の2次試験対策を行う。						
到達目標	日本の大学で学ぶための基礎的な学力をつけ、日本留学試験で各科目70%以上の得点を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション	第16週	理科科目演習⑫				
第2週	理科科目演習①	第17週	理科科目演習⑬				
第3週	理科科目演習②	第18週	理科科目演習⑭				
第4週	理科科目演習③	第19週	理科科目演習⑮				
第5週	到達度テスト①	第20週	到達度テスト④				
第6週	理科科目演習④	第21週	理科科目演習⑯				
第7週	理科科目演習⑤	第22週	理科科目演習⑰				
第8週	理科科目演習⑥	第23週	理科科目演習⑱				
第9週	理科科目演習⑦	第24週	理科科目演習⑲				
第10週	到達度テスト②	第25週	理科科目演習⑳				
第11週	理科科目演習⑧	第26週	到達度テスト⑤				
第12週	理科科目演習⑨	第27週	大学入試2次試験対策①				
第13週	理科科目演習⑩	第28週	大学入試2次試験対策②				
第14週	理科科目演習⑪	第29週	大学入試2次試験対策③				
第15週	到達度テスト③	第30週	大学入試2次試験対策④				
評価方法	到達度テスト、出席状況や授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	総合科目演習Ⅰ		学科名	国際文化学科			授業方法	演習
担当教員	道上知弘 ・ 弘田紀子		学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	日本留学試験総合科目の試験対策のための学習を演習形式で行う。多文化理解の視点から見た現代の日本と社会についてのテーマを中心に日本語による講義形式で行う。確認テストと日留試過去問題で実践力を高める。後期後半では大学二次試験対策として時事研究も合わせて行う。							
到達目標	総合科目の学習を通じて、日本留学試験総合科目150/200点以上の取得を目標とするだけでなく、日本の大学で学ぶための基本的な知識や、世界と日本との様々な問題について考える力を身につける。							
授業計画・内容								
第1週	試験対策1	地理Ⅰ①(世界の地理的環境と産業、資源)	第16週	試験対策15	地理③(総まとめ)			
第2週	試験対策2	地理1②(日本の国土と産業、貿易)	第17週	試験対策16	歴史④(総まとめ)			
第3週	試験対策3	歴史Ⅰ①(近代の成立と世界の一体化)	第18週	模擬試験、FB				
第4週	試験対策4	歴史Ⅰ②(第一次、第2次世界大戦と戦後の国際関係)	第19週	試験対策17	経済④(総まとめ)			
第5週	試験対策5	歴史Ⅰ③(現代の社会)	第20週	試験対策18	政治④(総まとめ)			
第6週	模擬試験、FB		第21週	試験対策19	社会④(総まとめ)			
第7週	試験対策6	経済Ⅰ①(経済体制、市場と価格、経済政策)	第22週	試験対策20				
第8週	試験対策7	経済Ⅰ②(日本経済の歩みと諸問題)	第23週	時事研究1	(情報収集の手段)			
第9週	試験対策8	経済Ⅰ③(国際経済)	第24週	時事研究2	(情報の収集と分析)			
第10週	試験対策9	政治Ⅰ①(民主主義の原理、世界の政治)	第25週	時事研究3	(トピックの発表と評価)			
第11週	試験対策10	政治Ⅰ②(日本国憲法、日本の統治機構)	第26週	時事研究4	(情報の収集と分析)			
第12週	試験対策11	政治Ⅰ③(政党政治、前代政治の諸問題)	第27週	時事研究5	(トピックの発表と評価)			
第13週	試験対策12	社会Ⅰ①(国連、国際機構と国際協力)	第28週	時事研究6	(情報の収集と分析)			
第14週	試験対策13	社会Ⅰ②(南北問題、民族問題、地球環境問題)	第29週	時事研究7	(トピックの発表と評価)			
第15週	試験対策14	社会Ⅰ③(現代社会の特質、社会保障制度、多文化理解)	第30週	総括				
評価方法	授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。							
教科書 教材など	『ハイレベル総合科目』他、オリジナル教材							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション I	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	新谷いずみ	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	大学・大学院、もしくは職場で効果的なプレゼンテーションを行うための基本知識と応用力を身につける。年度後半は実践的な演習形式を中心に、より進んだ技法を学ぶ。						
到達目標	自分で内容を構成して資料を作成し、論理的で分かりやすいプレゼンテーションを行うことができる。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション	第16週	スライド作成方法基礎①				
第2週	プレゼンテーションのテーマ設定①	第17週	スライド作成方法基礎②				
第3週	プレゼンテーションのテーマ設定②	第18週	スライド作成方法応用①				
第4週	プレゼンテーションの構成①	第19週	スライド作成方法応用②				
第5週	プレゼンテーションの構成②	第20週	プレゼンテーション実践演習①				
第6週	プレゼンテーションの構成③	第21週	プレゼンテーション実践演習②				
第7週	プレゼンテーションの資料作成方法①	第22週	プレゼンテーション実践演習③				
第8週	プレゼンテーションの資料作成方法②	第23週	プレゼンテーション実践演習④				
第9週	プレゼンテーションの資料作成方法③	第24週	プレゼンテーション実践演習⑤				
第10週	グループワーキング①	第25週	プレゼンテーション実践演習⑥				
第11週	グループワーキング②	第26週	プレゼンテーション実践演習⑦				
第12週	グループワーキング③	第27週	プレゼンテーション実践演習⑧				
第13週	プレゼンテーション発表①	第28週	プレゼンテーション実践演習⑨				
第14週	プレゼンテーション発表②	第29週	プレゼンテーション実践演習⑩				
第15週	総括	第30週	総括				
評価方法	授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	基礎科目応用演習Ⅰ	学科名	国際文化学科			授業方法	演習
担当教員	道上知弘 ・ 弘田紀子	学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	日本留学試験の基礎科目の対策を各学生の学力と進度に合わせた演習形式で行う。「数学演習」、「理科演習」、「総合科目演習」で得た理解力をさらに深め、実際の試験で発揮できる力を養う。第2回留学試験終了後は大学の2次試験対策を行う。						
到達目標	日本留学試験の基礎科目で平均点以上の取得。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション		第16週	基礎科目演習⑫			
第2週	基礎科目演習①		第17週	基礎科目演習⑬			
第3週	基礎科目演習②		第18週	基礎科目演習⑭			
第4週	基礎科目演習③		第19週	基礎科目演習⑮			
第5週	到達度テスト①		第20週	到達度テスト④			
第6週	基礎科目演習④		第21週	基礎科目演習⑯			
第7週	基礎科目演習⑤		第22週	基礎科目演習⑰			
第8週	基礎科目演習⑥		第23週	基礎科目演習⑱			
第9週	基礎科目演習⑦		第24週	基礎科目演習⑲			
第10週	到達度テスト②		第25週	基礎科目演習⑳			
第11週	基礎科目演習⑧		第26週	到達度テスト⑤			
第12週	基礎科目演習⑨		第27週	大学入試2次試験対策①			
第13週	基礎科目演習⑩		第28週	大学入試2次試験対策②			
第14週	基礎科目演習⑪		第29週	大学入試2次試験対策③			
第15週	到達度テスト③		第30週	大学入試2次試験対策④			
評価方法	到達度テスト、出席状況や授業中の学習態度、学習目標への到達度などから総合的に評価する。						
教科書 教材など	オリジナル教材。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナー I		学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	弘田紀子		学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	場面ごとのマナーを学びながら「挨拶の励行・笑顔での対応・時間や決まりごとの遵守」を学習する。また、国際化の中で、日本独自のしきたりや習慣を理解し、それを多文化意識として学習する。							
到達目標	他者に与える自分の印象を知り、マナーとは何かを考え、多様化するビジネスマナーを身につけ、実践できるようにする。							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション、授業の説明			第16週	電話応答の基本1		受け方・かけ方	
第2週	ビジネスマナーと第一印象1 第一印象の大切さ			第17週	電話応答の基本2		携帯電話のマナー	
第3週	ビジネスマナーと第一印象2 自分を知る			第18週	接客のマナー1		ご案内・紹介など	
第4週	ビジネスマナーと第一印象3 挨拶・表情			第19週	接客のマナー2		名刺交換など	
第5週	ビジネスマナーと第一印象4 身だしなみ			第20週	訪問のマナー1		会社訪問の基礎	
第6週	話し方と聞き方1	アクティブリスニング		第21週	訪問のマナー2		個人宅への訪問	
第7週	話し方と聞き方2	スマートな自己紹介		第22週	実技ロールプレイ2		会社訪問	
第8週	話し方と聞き方3	敬語1		第23週	ビジネス文書1		社内文書と社外文書	
第9週	話し方と聞き方4	敬語2		第24週	ビジネス文書2		文書表現	
第10週	マナーの歴史1	プロトコールマナー		第25週	ビジネス文書3		郵送・FAX・Eメール	
第11週	マナーの歴史2	異文化理解		第26週	仕事の基本1		仕事の基本動作	
第12週	マナーの歴史3	日本社会の慣習		第27週	仕事の基本2		PDCA、報告・連絡・相談	
第13週	実技ロールプレイ1	自己紹介		第28週	仕事の基本3		コミュニケーションとチームワーク	
第14週	ビジネスマナーとルール1 会社の仕組み			第29週	冠婚葬祭のマナー			
第15週	ビジネスマナーとルール2 組織のルール			第30週	総括			
評価方法	定期テストは行わず、授業毎の課題、授業に取り組む姿勢などを総合的に判断し、評価する。							
教科書 教材など	オリジナル教材							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目		

2025年度 授業計画(シラバス)

科目名	専攻研究Ⅰ	学科名	国際文化学科			授業方法	講義
担当教員	道上知弘 ・ 新谷いずみ	学年・学期	1年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	研究計画書の作成法、先行研究の調べ方等を中心に、大学院進学のために必要なスキルと学術研究に対応できる日本語力を養い、研究計画書の完成を目指す。						
到達目標	大学院入試や、研究生受け入れに活用することのできる研究計画書を完成させる。						
授業計画・内容							
第1週	授業オリエンテーション		第16週	先行研究の調査方法①			
第2週	大学院に進学する目的について		第17週	先行研究の調査方法②			
第3週	研究計画書を書く目的について		第18週	先行研究の引用方法①			
第4週	研究計画書の構成		第19週	先行研究の引用方法②			
第5週	研究計画書に用いる文体		第20週	研究方法を書く①			
第6週	研究課題について①		第21週	研究方法を書く②			
第7週	研究課題について②		第22週	研究方法を書く③			
第8週	研究目的を書く①		第23週	大学院指導教員の探し方①			
第9週	研究目的を書く②		第24週	大学院指導教員の探し方②			
第10週	研究動機・背景を書く①		第25週	指導教員への連絡方法①			
第11週	研究動機・背景を書く②		第26週	指導教員への連絡方法②			
第12週	研究意義を書く①		第27週	口頭試問対策①			
第13週	研究意義を書く②		第28週	口頭試問対策②			
第14週	研究計画書講評①		第29週	口頭試問対策③			
第15週	研究計画書講評②		第30週	総括			
評価方法	研究計画書の完成度や平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題等提出物)から総合的に評価する。						
教科書 教材など	『実践 研究計画作成法[第2版]』。						
実務経験					実務経験のある教員による 授業科目		